

日EU・EPA協定承認案の 強行採決に抗議する委員長談話

本日、衆議院本会議において、日EU・EPA協定の承認案がわずか4時間半の審議で採決が強行されたことに断固抗議する。

日EU・EPA協定は乳製品をはじめ加糖調製品や小麦製品などTPPを上回る合意内容であり、本道農業への甚大な影響が必至で、断じて認められない。

協定発効によって、本道農業のみならず、地域経済・社会にも多大な影響を及ぼすものであり、「食料安全保障」、「食料自給率向上」という国の責務を放棄するに等しいものである。

よってわれわれは、12月4日に開催する全道集会において抗議するとともに、国内農業を犠牲にする貿易交渉に断固反対し、国民の命と暮らし、北海道農業・農村地域が脅かされないよう運動を展開していく。

2018年 11月 29日

北海道農民連盟委員長 西原正行